京城日報
十八日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

○講和談判又復破裂
獨逸言論界議論沸騰

露獨講和談判は又復破裂

ブレストリトウスクに於ける露獨講和談判は又復破裂したり之に對し獨逸言論界は大いに議論沸騰せり（倫敦特電）

○露國の態度を詰る
トロツキー外相屏息す

九日ブ市に於て開會されたる平和會議の席上議長となれる獨逸外相キユールマン男は露國が一般平和を提議せしに拘はらず英佛の峻拒に遭ひ單獨講和を要求せるが今猶ほ露國に其意思あるやを疑ふとて皮肉なる論鋒を向けゴルフマン將軍は露國政府代表者等の署名ある獨逸側罵倒の檄文を突き付け其不謹愼を詰責し其他同盟國各代表者も交々露國側に喰て掛りたるよりトロツキー外相は一言も無く閉會を要求し次回は翌日に決定せり（特派員發）

○獨當局間衝突眞因
宰相の敵はヒ元帥並にル將軍

獨逸當局間意見衝突の要點は妥協平和に對する併合平和にして宰相及び外相は議會多數派の同意を以て自定權主義に依りて占領地問題を決せんとするに對し軍人側は占領地を割讓せしめて東方國境を遠くし國防を安全にすべしと云ふに在り之が爲一月二日伯林にて御前會議開かれたる譯なるが全獨派新聞に依れば皇帝は宰相の意見に同意せりと一説に依れば宰相は自定權主義によりて談判を進め其結果は全獨派の希望と同一ならしむべしと保證したりと議會多數派は宰相の味方たるも目下宰相の敵は國民全體の崇拜せるヒンデンブルグ元帥ルーデンドルフ將軍たると同時に此際妥協平和論の主張は大局に不利なる爲社會黨以外は沈默の姿にあり、之に反し全獨派は頻りにルーデンドルフ將軍の辭職説を振り廻はし一般外交當局の軟弱たる態度を批難しつゝあり（瑞西發電）

○試驗令公布
文官外交官任用令改正

十八日官報を以て高等試驗令、普通試驗令、高等試驗委員及び普通試驗委員官制、文官任用令中改正、外交官領事官及書記生任用令中改正件の勅令公布されたり（東京特電）

東京より
在京　一記者

英國首相と講和條件問題

○英國首相ロイド、ジョーヂ氏の演説に含まれたる講和條件を以て本邦の新聞紙には其條件が軟弱なるは英國が講和に傾きつゝあるを示すものなるかの如く論ずるものあれども本邦に於ける英國人の發行するジヤパン、クロニクル紙の如きは却つて之を以て極めて強硬なる條件を提出したるものとし英國首相が斯の如き條件を開陳したる理由は敵國側の誤解を解きて平和を締結せんと欲する希望より出でたるものにあらずして却つて聯合國を奬勵して益々戰爭に對する結束を堅くせんと欲する意志なるかの如く解し居れり。

○クロニクル紙の議論の要點を擧ぐれば英國首相は講和の第一條件として條約不可侵權の確立を希望すと云へり是は白耳義中立條約が獨逸の爲めに蹂躙せられたるが爲めに戰爭に參加したる英國として無論要求すべき事にして其結果として首相が白耳義の政治領土、經濟の完全なる獨立及び其市街村落の破壞に對する報償を求むる事も當然なり然るに塞爾維黒山國及び佛伊羅に於ける敵軍占領地に對しても同樣なる報償を求むるは是れ則ち獨墺國をして一般的償金を支拂はしめんとするもの也。

元來白耳義と塞爾維等を一列に論ずべき理由なし白耳義は中立國にして其中立を維持せんとするに汲々たりしものなり然るに獨逸が其中立條約を無視して其國を侵略したる也。之に對して獨逸が相當の報償をなすべきは勿論なれども塞爾維の如きは實に戰爭の發頭人なり羅馬尼の如きは自己の自由意志に依りて戰爭に參加したるものなり、此等の諸國が獨逸に勝つて償金を要求するを不可なりと云ふにあらず、英國首相が之を白耳義と同一に論ずるが其當を得ずと云ふのみ。

○英國首相は佛國のアルサス、ローレン恢復の希望に關しては英國は飽く迄獨逸をして一八七一年になしたる惡事を再考せしむるに勉むべしと云へり、首相の意志はアルサス、ローレン住民をして其所屬國を決定せしめんとするにあるべし、クロニクル紙は曰く英はアルサス、ローレンの爲めに戰ふにあらず、又アルサス、ローレン恢復は英國民の[illegible]にあらず、此問題は宜しく講和會議に於て決すべきものなり。併合されたる領土の歸就は其住民の自由に依りて決すべしとの原則は理論として可なりとするも之を實行せんとするに於ては世界の領土の大混亂を來たすべき恐れあり、主要の問題は併合の行はれたる時の期限なりアルサス、ローレンの併合は一八七一年也、其後に墺洪國の爲に併合されたるボスニヤ、ヘルチエゴビナは如何戰時中に英國に併合されたる埃及は如何米國の有する比律賓伊太利の有するトリポリ等は如何世界戰爭開始前の狀態に還へす事すら英國は埃及の關係より之を實行するに躊躇すとするに約五十年の昔に行はれたるアルサス、ローレンの恢復を平和條件として提出するは事理徹底せず。

○英國首相の平和條件たるや要するに戰爭中敵國の占領したる土地は之を返還し若しくは獨立せしめ戰前敵國の併合したる土地も返還し若しくは獨立せしむるにあり、其併合が何年前に行はれたるを期限とすべきやは明瞭ならず如何にして此漠然たる條件を以て平和條件となし得べきかは疑問なり。

○以上はクロニクル紙の議論なるが之れに依りて英國人は必ずしも英國首相の意見を以て軟弱なりと思考し居らざる事を見るべし。

◉總督總監參列

長谷川總督、山縣政務總監は十八日午後三時三十分仁政殿に於て李王殿下の御催しに係る午餐會に參列せり

◉鑛業金融と東拓
朝鮮鑛業抵當法の整備近し

客年十月一日より實施せし東洋拓殖會社法は其の金融部の

▲資金貸附範圍を從前に比し著しく擴大し殆んど商業金融を除く外各方面に及び得る事となせし結果新方面よりの金融申込は必ずしも少なからず東拓も大に活動し大に資金の供給を行ひ以て新領土の拓開に力を致さん事を期しつゝあるが最近二三ならず貸附の申込みを受けたるは朝鮮鑛業關係者より來りたる鑛業資金にして某々知名の士より稍々纏まりたる大口の交渉あり東拓支店にては右に對し其の鑑定並に調査に堪能の技術家缺げ居るを以て目下內地の經驗家に

▲鑑定調査をなすべく依頼中の由に付遠からず目下申込みの分は可否何れとも決定すべきが將來鑛業金融の申込みは朝鮮鑛業の發展に伴ひ少なからざるべきを以て東拓にては鑛業專門家數氏を社員として聘すべき計畫ありと雖朝鮮にて鑛業金融上甚だ遺憾の點は關係法令の不備にあり內地にては明治卅八年鑛業抵當法の發布ありて該法によれば鑛業權、機械類は一括して放資の抵當物となすを得るも朝鮮には右に該當する法令なく一鑛山に對し

▲資金の貸附を行はんとすれば朝鮮鑛業法により鑛業權を抵當とし更に鑛山用の諸機械類は質權抵當法により之れを擔保物とし更に土地其他の不動產は不動產抵當法により債權の設定をなさざる可らずかく三方面の手數を盡して初めて一鑛山を擔保する如きことにては手續上の煩大方ならざるものあり尤も右に就き當局にては其の不備を認め或は今期議會に於て法規の提出を見るべしと云へば遠からず其不便は除去され朝鮮鑛業金融上の一新面目を示すべき手

◉王世子御動靜
（第七、第八日）

李王世子殿下は十九日正午成鏡殿に伺候父王殿下に御挨拶の上直ちに御出門、自動車にて昌德宮に赴かれ同三十分[illegible]に於て李王殿下御催しの午餐會あり[illegible]午後一時[illegible]二時より御徒歩にて秘苑及び昌慶苑御觀覽あり、植物園[illegible]等にて御休憩後同三時卅分[illegible]內殿に立寄られ李王同妃殿下に御挨拶の上同四時敦化門御發自動車にて德壽宮へ歸還せらるゝ筈なるが同夜は既報の如く午後六時より朝鮮ホテルにて李王職の招待晩餐會あり又二十日は日曜日に當れるを以て午前中成鏡殿に伺候し李王殿下に御對顏の後石造殿に還御せられ午後は終日御休息あらせらるゝ由

◉定例長官會議

十八日は[illegible]

◉辭令

十八日[illegible]

京城[illegible]女子高等普通學校教諭　佐藤　正作
[illegible]八級俸下賜

◉石炭關稅撤廢說
炭價調節策は如何

[illegible]に依れば朝鮮總督府に於ては時局の影響を受けて一般[illegible]石炭の騰貴を[illegible]

▲朝鮮側日本關[illegible]の輸[illegible]四十二錢乃至一圓五十錢及び[illegible]

▲進運を阻碍する[illegible]他二三品種の騰貴は製造工業に對する打擊と成り或は破滅の[illegible]格の調節を圖るの必要を認め[illegible]少からざるものあるを以て之が[illegible]の結果昨年末石炭其他一二品種の輸移入稅の撤廢案を立て其の手續を經て近く之を實施するの運びと成り居れるやの說あり石炭の暴騰は冬季に方りて一般の苦痛大なるのみならず

▲近時勃興し來りたる製鐵、精錬、電氣等各種事業に在りては殊に影響の甚大なるものありて京城商業會議所に於ても兩三回に亘りて評議員會或は商業部委員會を開きて炭價調節策に關する研究を重ねたること既報の通りにして愈々從來課稅されつゝある從價五分の輸移入稅を免除せらるゝこととも成らば幾分の調節行はるべく尙平安北道廳の調査に依れば

▲安東縣に於ける炭の小賣價格は塊炭一噸十一圓四十錢、切込十圓二十錢粉炭九圓四十錢なるを以て滿鐵の同地元賣捌人に對する供給價格に關しては滿鐵は絕對秘密に附し居れるも塊炭十圓、切込九圓、粉炭八圓內外なるべしとあり之を朝鮮に輸入するに當り支那稅關の輸出稅噸當二十二錢三厘（現在の銀價に從ふ）

□耐寒の設備は民族發展に必要
（四）立花將軍談

零下三十度の嚴寒

乃ち兵士等は總ての點に於て不自由なる僻陬の地に在りて而かも氷點下三十度の酷寒を意とせざる所見る者をして一種

▽爽快の念を抱かしむるものがある、單に守備兵のみならず、其の地方に在住せる郡書記、教師、商人等一般の人民が寒氣と言ふ事に對して聊かも懼れを抱いて居ない要するに其の地方の氣候風物に慣れると言ふ事は極めて必要な條件であるといはねばならぬ今回予の巡閲中に於ても兵士等は馬及び防寒具を用ひず零下三十度の酷寒を冒し、予が馬側に副ひて走り、予が

▽橇後に隨ひて驅ける、雪は人の頭より馬背にかゝりて天地唯だ白皚々其の中をも厭はず予が巡閲豫定の日を待ち構へて或は予を迎ふるに管內巡視を兼ねて或は數十里の外に出で而かも官民の總てが少くも一二里の出迎を爲さざるなきは衷心より予を歡迎する象徵とも見えて予甚だ喜びたるもの大に欣喜措く能はざるものがあつた身は遼遠山間に入りながら、宵を供へ酒を盤へ憲兵の妻女の如き

▽必死の腕を揮ひ予の爲めに馳走を拵らへ呉れしは誠に感謝に禁へなかつた、それにつけても平素は暖爐の側に安逸を貪りつゝある吾等にても足一度かゝる境地を踏み同胞の溫情に浴する時誰れか皇國の榮ね、天恩の鴻大に感ぜざるものあらむやである。同時に予は斯かる邊陬に於ける同胞の生活狀態

▽其他を觀察するに及んで之を江岸に於ける鮮人進んで對岸に於ける支那人の生活狀態に比し同胞民族の爲めに大いに較し同胞の思想を涵養すると共に之れが耐寒の設備即ち服裝居住等に能ふ限りの改革を爲さんことを提唱するものである

◉商銀株主總會

朝鮮商業銀行にては十九日午後四時より[illegible]

◉梁士詒氏來鮮

內地各方面旅行中なりし支那梁士詒氏一行は近く朝鮮經由歸國の旨某所に通知ありたり但し其の來鮮期日は未定也

◉北島博士通過期

醫學博士北島多一氏は今回氏家內務技師を隨へ支那出張の途次十九日午後九時南大門驛通過の筈なり

◉久保局長出張

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は地業從事員慰問の爲十九日朝南大門發京義線へ出張廿二日夜歸任の豫定なり

◉鮮銀爲替會議

朝鮮銀行にては十八日も引續き會議室に外國爲替會議を開き重役局長店長列席協議を重ねたり

◉朝郵店長會議終了

十四日[illegible]朝鮮郵船會社樓上に開會したる朝郵店長會議は[illegible]十七日終了したりと

◉羅南川修築工事

羅南[illegible]府豫算に計上されたる羅南川修築工事は總額十四萬九千八百圓にして三箇年度に亘る繼續工事として起工さるべく本年度割一萬七千六百圓を豫算されたり同工事の要は羅南川は夏期降雨に入れば洪水氾濫して市街に面せる堤防破壞し新市街設計上此の際最も緊急なるものにて其の設計は羅南橋の附近上流より羅南川の合流する所までの水路屈曲を修築し川幅を二十五間となす由なり

◉阿部氏渡英期

朝鮮銀行倫敦に出張を命ずべき前哈爾賓支店長阿部讓氏は目下開會中の外國爲替會議終了後哈爾賓に引返し後任者木原小平氏との間に事務引繼ぎをなし更に內地に向ひ三月中に渡英の途に上るべしと

◉秋山技師南米出張

總督府技師秋山眞男氏は來る三月頃より昨年四月米國に出張を命ぜられたる技師[illegible]の豫定なりしも北米より新にブラジル方面に出張を命じたるを以て其の歸任は六月若くば七月となるべし

◉旅團副官來龍

第三十七旅團副官[illegible]龍山及び平壤の諸部隊狀況視察の爲十七日來龍せり

◉滿鐵南課長退職

滿鐵[illegible]課長[illegible]太郎氏は辭職退社し又鑛業部販賣課長[illegible]次郎氏も近く退社する由

◉馬詰氏の張宴

東亞煙草朝鮮總販賣所長馬詰次男氏は十七日夜各新聞通信雜誌記者並に社員十餘名を花月に招待し張宴せり

大阪財界管見
支局　一記者

▲昨年度の事業界の好況は時局の齎らせる好影響に外ならずといへども事業の種類によりて頗る徑庭あり且つ昨年上半期以來一般を通じて拂込資本金額の增加は順調なりしも其利益に至りては却て減少して前年下半期に比すれば一割二分五厘減の一割九分に低下せり

▲特に電力電燈事業は利益金の增加を示せると一面に於て資本の增加により利益の比率は却て減少を示せり而して茲に注目すべきは一般事業界の好調につれ各會社の增資新株の募集を企つるに當つて彼のの弊害多きプレミアム附の株式發行頻發の結果其のプレミアム收得金を多くは利益金に加算し從つて純益金が事實以上に計上せられ著るしく實質に相違せるものゝ多し

▲今一例を擧ぐれば今日紡績の如き實際上の利益金は僅々二百餘萬圓なるにプレミアム收得金の加算により八百七十餘萬圓といふ約三倍の利益金を計上せり今利益增加の主なるものを擧ぐれば化學工業肥料業、製[illegible]、鐵工、造船業、海運業、窯業、機械、紡績業等なるが就中紡績海運及一般化學工業等に至りては即ち時局の好影響を極度に蒙れるため人氣を呼べる事實顯著なるも多額に上りたるが昨年上半期に於て最も著しきものを擧ぐれば尼崎紡績の五百五十九萬四千圓、合同紡績の六百七十一萬二千圓、硫酸肥料の二十五萬八千圓、大阪晒粉の二十五萬九千圓、日本舍密の二百四十七萬五千圓、關東酸曹の二百七十一萬二千圓、日本セメントの七萬八千圓[illegible]二千圓にして全額千七百十七萬六千餘圓に上れるが更に之を分類して比較すれば左の如し（單位千圓）

	利益金	プレミアム收入	差引純益
化學工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
肥料	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲即ち右表の差引殘りが即ち純益なるが殊に化學工業の純益總額僅に二百六十七萬五千圓なるにプレミアムの收入加算により七百二十萬圓の利益計算を發表せるは不合理といふべし事業上に於て昨年上半期の利益率は前年下半期に比し劣れるものと見て然るべく實際的見地よりして化學工業等の收益狀態は下り坂にあると見るが妥當なり

▲尤も製粉電氣軌道電力電燈製紙等は稍々增加せる事業なるも之れとて我工業界勃興氣運に促進せられたる結果に外ならず次に利益減少の事業を擧ぐれば倉庫土地建物取引所麥酒等にて殊に財界の好況を示すバロメーターと稱せる取引所の成績が利益減の實情に在るは戰爭の人氣が頹勢に傾けるを立證せるものといふべく尙ほ下半期の成績は大體に於て上半期に比し一層の低率を示すならんされば本年度に於て如何なる變遷推移を來すや俄かに斷じがたきも既に事業熱に浮かれ妄動せし資本家の動搖を來たせるに徵するも一般事業界の趨勢を卜知し得べく現在以上の進展は疑問にして一般投資家は此際大に注意すべきなり

◉訂正　本朝刊第二面[illegible]欄中『[illegible]制』とあるは『試驗制』の誤植に就き訂正す

社告

近來本社名と紛らはしき社名を用ひ各道及び滿洲方面を訪問し廣告書籍等を勸誘するものあり本社員と誤認せられ愛讀者の迷惑を被むるもの有之やに聞き及び遺憾に堪へず依て爾後本社員出張の場合は必ず其地區を限りて社告することゝ致し候に付此段豫告候也

一月十七日

尙ほ爾後本社名『京城日報社』に紛らはしき[illegible]御注意成し被下度候

京城日報社

新春新韻

勅題『海邊松』　布川　水香
果果紅暾上翠峯、滄浪寫出玉芙蓉、曉潮拍岸和松籟、老幹森森[illegible]
評曰　和雅

同上　米倉　碧[illegible]
東海浪涌千古松、亭亭勁節勢如龍、元朝先捧紅暾出、一白沙洲[illegible]
評曰　彩色如繪

同上　淺野　桂雲
老松一樹白沙濱、綠映朝暾瑞氣新、傲骨稜稜壓群木、幸風鹹雨[illegible]
評曰　妙、字句雖少、極得詠物之[illegible]

同上　成田　碧石
蓬島託根固、靜昔經雪霜、擎[illegible]

人事消息

▲ジエイラード氏（京城[illegible]技師長）入京中の處十七日朝南大門驛發奉天へ
▲[illegible]村盛之助氏（[illegible]工場[illegible]工科長）十八日朝京城通過歸任
▲[illegible]氏夫妻（[illegible]所長）十八日夜退京
▲李聖默氏（李王職贊侍）十七日夜京城出發
▲[illegible]（總督府土木局元山出張所長）十七日[illegible]へ出張を命ぜらる
▲[illegible]十七日[illegible]

定價・廣告料・發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 [illegible]

十一月一日現行 [illegible]

東宮妃御册立に御內定ありたる久邇宮良子女王殿下

東宮殿下の御妃に

久邇宮第一王女を御册立の事に御內定

畏き邊りにては今回第十五師團長久邇中將宮邦彥王殿下第一王女良子殿下を東宮裕仁親王殿下の御妃に御册立の事に御內定相成りたるを以て波多野宮內大臣は去る十四日豐橋なる師團長官舍に邦彥王同妃俔子兩殿下を御訪問の上

◆右御沙汰の次第を言上し十五日更らに沼津御用邸に伺候東宮殿下にも同樣の御諚を言上せり右に就き久邇中將宮同妃兩殿下には十六日御歸京十八日午後二時御參內兩陛下に御對顏御內約の御禮を言上遊ばされたり。良子殿下は本年三月六日を以て滿十五歳に達せられ目下

◆學習院女學部第三學年に御在學中なるが御容姿の淑かなるは申す迄も無く御學德共に優れさせられ殊に御體格は各姬宮中最も圓滿に御發達遊ばされ居るを以て東宮妃殿下と仰がれ給ふには此上なき御素質を備へさせられ來四月二十九日東宮滿十七歳に達せらるゝ御誕辰當日宮內大臣より公然の勅許を奏請し御緣故の向へ發表せらるゝ由に承はる（東京電話）

華かなその夜、夢心地に

▽植物本館內の御內宴の光景△

御軍服姿凛々しき王世子殿下
嫣然に、兄王殿下と御もの語り
◆◆◆◆國分李王職次官夫人の謹話

十七日午後六時より昌德宮植物本館に於て李王同妃殿下の御催しに成りし御內宴に陪したる國分李王職次官夫人は御當夜の模樣を語る「御內宴に列した方々は李王同妃世子の三殿下を始めとして[illegible]

▽三殿下を始めとして李王族[illegible]姻公殿下夫人閔長官夫人など王族御親戚李王職の重なる方々の三十二名でありました。當夜の植物本館內は綺麗る椰子やゴム樹が[illegible]

▽眼も眩む[illegible]

▽色美しい[illegible]

▽幻の世界[illegible]

▽夢果てし[illegible]

▽お見送げ[illegible]

別段六ケしい事では無い (1)

三月一日より實施の肺結核豫防法に就て

京畿道警務部長談

本月十五日朝鮮總督府令第四號を以て肺結核豫防に關する法令が發布せられ三月一日より實施せらるゝ事となつたが其の全文は翌十六日發行の京城日報に掲載せられて居るから一般に承知の事であらうと思ふ即ち

◆全部十個條より成り大體に於て內地に於ては已に十五年以前より施行の規定と大差ないようであるが[illegible]

[illegible]く事は誠に喜ばしき事である府令の規定を總括して云へば第一公衆の出入頻繁なる場所並に多人數雜居する如き場所に於ける唾壺の配置及び其の消毒第二溫泉場海水浴場等の如き重もに肺結核の樣な病人が轉地療養又は保養に行く場所の宿屋に於ける居室等の消毒洗滌第三病院に於ける肺結核患者入院室の臨[illegible]並に其の物品の[illegible]

◆肺結核患者入院室の[illegible]

◆警務部長が指定して本文の通り設備せしめ[illegible]

尙是れ等の場所には時々警察官が臨檢して其唾壺が不完全であるか又は其數が足らぬと認めたときは警察署憲兵分隊等より變更又は增加を命ずる事となるのである而して唾壺內の唾液には其の乾燥飛散を防ぐ爲め豫め消毒藥液又は水を容れ置き壺內の唾液は消毒液を混じて能く消毒し投棄するのであつて其消毒方法は府令の第二條に詳しく規定せられ居るから茲に略するが消毒に付注意を要する事は、

◆唾壺の消毒には其內容物と同量以上の[illegible]

◆其患者の使用したる物品も消毒したる後でなければ他人に使用せしむる事が出來ぬのである第三は病院に於て肺結核患者を他病の患者と同室に收容する事の出來ぬと肺結核患者を入れた病室に他病の患者を容するときは必ず消毒を要すること、結核病毒に汚染し又は汚染の疑ある物品は使用者を改むる毎に消毒する事等が府令規定の大要である

山火事

未だ鎭火せず

[illegible]事は十七日夜も猶燃ゆ[illegible]火すべき見込み立たず（大阪特電）

李鍝公邸御訪問

仁政殿の午餐會

[illegible]

短刀で情婦を半殺し

[illegible]

一村全滅す

[illegible]郡新[illegible]村に十六日火災[illegible]五十九戶八十六棟全燒し同村全滅せり（大阪特電）

二千圓盗まる

[illegible]

死亡し一家全滅に瀕す

[illegible]

朴侯爵の救貧

[illegible]

過つて姉を射殺す

[illegible]

安東滑走大會

[illegible]

雁の身代り

[illegible]

課題及び募集規定

□募集規程 △用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣 晴れ

商況

[illegible]

仁川取引所 十八日の二月限

[illegible]

▲十八日後場　大阪強もざる入電にて當地先二十錢七十錢を一高に寄付六十九錢と

七十錢二節七十錢一錢七十錢三節[illegible]七錢一錢七十錢六十九錢四節六十九錢八錢

仁川米豆取引所

平均値段　前一節　二十圓六十九錢　二節　二十圓七十錢　三節　二十圓七十錢　四節　二十圓六十九錢

改革後の滿鐵
分掌規定發表

滿鐵會社にては過日來中村都督兼社長[illegible]役會議の經過を辿りつゝありしが愈十五日を以て分掌規定を發表し社内事務執掌の大改革を斷行し即日實施する事となりたり此の改革の要點は人事並に庶務の監督を嚴密精査する目的を以て理事長直轄の下に人事課及び監査課を新設し特に人事課に於ては從來

▲人物の進退に　面白からざる現象多なりしを以て特に留意の意見もあり課長に用事を[illegible]せり從來總務、運輸、計理、鑛業、地方の五部を總務、計理、鑛業、地方の四部とし從來の運輸部を改めて大連管理局と稱し京城管理局と並びて朝鮮線滿洲線の運輸の統一を圖る事とし大連管理局に在りては

▲從來總務部に屬したる技術局保線課を併せ京城管理局と同一の組織とし總務部に在りては技術局の外に事務局、交渉局を廢止し文書、調査、交通の三課と工務局とを以て成り計理部は各課所前と混る處なく鑛業に在りては從來の鑛務課に

▲地質研究所の　所管を加へて新に地質課を設きたり此の他に滿鐵特別附屬事業は從來其の所屬を明かにせざりしが今回之れを分ちて東亞經濟調査局は理事長室に沙河口工場、埠頭事務所及び各地公所は總務部に電氣作業所、瓦斯作業所は計理部に撫順炭礦、鞍山站製鐵準備係は鑛業部に

▲産業試驗所は　農事試驗場と改め中央試驗所南滿醫學堂、南滿工業學校[illegible]

▲社員向上の路　を開きたり

今回の改正に由り著しく目立ちたるは課長の増加にして各部の改正と共に新たに設けられたる課は人事、監査、交通、設計、地方及び工務局にして之れに大連管理局、同庶務、營業、運轉、保線課を加へたる[illegible]を見るも大連管理局を除きては其の職務は殆ど從來の儘なり[illegible]課長となりたるは同氏の復活とし[illegible]大に注目に値すべし[illegible]

[illegible]（人事異動一覽）

露國分裂
近藤　[illegible]

露國の分裂的傾向は、革命當時既に之を斷言せしが如く月と共に顯著となり、最近其の傾向益々著しきを見る、曰く小露西亞、曰く芬蘭、曰く西伯利と何れも獨立政府を樹立して、過激派の自分免許政府に對立し、其の他鳥拉爾地方の如き又之に倣はんとするもの頻々として起り來りたるは其の證左なり

芬蘭が最近獨立

を宣言し、レーニン政府に對し芬蘭共和國内より其の軍政の撤退を要し、過激派政府之を峻拒するや元より期する處、早くも獨逸に對し獨立國としての承認を要求し、以て獨逸の第一階級たらしめんとし、佛國は先づ率先して獨立國として承認を與へたりとの説あり近く當地に報道せらるゝ處なり芬蘭人が瑞國のマンチエスターを以て任じ、其の文化は本國より一歩先んぜるを誇負せるは今日の事にあらずと雖も、革命以來其の獨立運動の熱烈強盛なるは人の知る處實際に於て今やレーニン

政府の威令行はれず

宛然分離の狀態にあり、元より民族自定主義はボリシエウイクの綱領の一なりと雖も、多年專制政府の壓制に虐げられし芬蘭人が、露國の羈絆を脱せんとの熱望は蓋し芬蘭人と異らず、而して革命以來

動力供給期
甘三日前後ならん

本年に於ける各種工業の勃興及び土地の發展に伴ひ電氣動力の需用供給は最も急務の一問題なれば昨年五月中商業會議所役員會に於ても之れが緊要緊急なるを決議し一般務委員は其代表者として平壤電氣株式會社に交渉したるを始め民間當業者にありても個人的若くは團體より申入れたるより愈平壤の輿論を喚起し從來の夜間動力供給を強要し會社に在りても土地の現狀に鑑みて遂に其要求を容るゝ事となれども一面會社は營利を目的とする以上は採算を見るべき動力の申込に達せざれば營業を爲す能はざると同時に時局の現狀より見て機關器械其他の設備には約半年を費さゞるべからざれば假令今日少くも百馬力の申込ありとせば十二月末には[illegible]一月中ならでは供給開始の運びに到らず[illegible]すこし[illegible]種々調査の結果[illegible]現在の夜間供給は七十馬力あれば[illegible]に新規申込三十餘馬力あれば[illegible]給も愈々解決を見る事となり[illegible]

小露西亞の獨立
其の機運は月と共に熟し、遂に公然聯合國は勿論獨逸に對しても獨立承認を要求す。過激派が其の軍隊撤退を肯せざるは當然なりと雖も、果して民族自定主義の下に、共和國の一分子として、熱狂せる露國人を制御し得るや否やは疑問なり若し夫れ若しウクライナ軍にして能く近き將來に演せらるべき大衝突に勝たんか、其の獨立問題所か、過激派政府の根柢を動搖し、天下は又哥薩克の掌裡に一握されんのみ、兩軍抗爭の勝敗如何が現下露國内の重要問題中の一なるは實に此の理由に基けり、露紙の報ずる處に依れば、過激派政府は遂にウクライ

州内製鐵起業
[illegible]山站に於ける滿鐵の製鐵計畫が[illegible]刺戟されたる者か滿洲各地特に關東州に於ける製鐵事業は有力者間に於てぼつ〳〵起業計畫を進めらるゝつゝある者の如し而して種類は銑鐵鋼多く中には六〇％以上の露鐵なきにあらざるも大概四〇％内[illegible]

大動員を斷行し
ナ政府に對し宣戰を布告し、之が討伐の致ケ聯國は頻々南下し始め一方ウクライナ政府は全將薩克の自由擁護の爲め討伐軍を迎擊すべく、既に多數の隊は軍容を整へキーエフ市を中心とし、茲に天下分目の一大決戰を務うべく、今や西軍の側は三十三露里に迫り來り、雌雄を一決すべき激戰は蓋し近き將來にあると、ウクライナ政府は又其の軍力振興を怠らず、今や西南戰及び羅馬尼戰線司令部は何れも其の摩下に歸し、兩戰線部隊は之に加擔して一大勢力を加ゆと、勝敗は容易に逆睹し能はず（未完）

太陽の黒點と
氣温の關係は

一致した學説はない、氣候の變化は大陸氣壓の如何に依つて變化するのは事實である、即ち支那大陸西伯利亞方面に於ける日本内地朝鮮一帶は來くたる、而して氣壓の[illegible]現はるゝと東部に[illegible]の關係が程度は[illegible]として[illegible]に在る

◎大正五年
[illegible]

◎二十日間
位のもので而して正月に入つて二日目來は八日が一番寒い日でそれ以來斷々固定的の高氣壓が移動を見せて變化し初めたから温度が不意に昇上して來た、之は冬季には常に起る現象だが只其の高氣壓の程度如何に依つて其年の寒さが違ふのである然らば其の高氣壓は如何にして出來るか何故に低氣壓高氣壓が生じて來るか、[illegible]太陽の黒點の増減が此の氣壓の變動に原因してゐるに相違ないと見做されるゝ結果今年は

◎黒點が多い
[illegible]

滯貨と交通難
上海商務總會は近時津浦鐵路等の輸送機關が多く時局の爲め軍用に使用せらるゝより貨物の運搬の如くならず諸處に滯貨山積して商家の困難一方ならざるを以て[illegible]

◎鐵道用地借入延期
[illegible]會社京城管理局より借入れて[illegible]撤換地として或は他に轉貸しつゝある前鐵道用地は約一萬坪なるが其借入期限は來る三月末日滿了となるに付き組合は更に現在の繼續を七年度より向ふ十ヶ年間借入の[illegible]を得たれば[illegible]

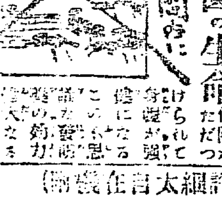
◎大邱より
[illegible]

滿洲木炭輸入
遞延償還の試驗

一昨冬木炭價格の[illegible]品不足を[illegible]は滿洲木炭の遞延償還を[illegible]は曩も角として比較的格安なるに乘じ多量に輸入を以て奇利を博すべく試たれが[illegible]の時機を失し即ち辨氷期際に[illegible]値段こそ比較的割安なれ品質は甚だ劣惡なれば滿洲木炭の評判香しからず斯炭商は何も持餘して昨年夏季に及びたるが就中狡猾なる當業者は之を朝鮮産木炭に混入し[illegible]に其の品質を計りたれど當初の人氣は決して少額と云ふを得ざれば昨秋末まで各斯炭商が持込みたる結末に結局滿洲木炭の輸入は失敗に歸したるが、是等の商狀に通じ居るか否かは未だ知悉するを得ざれど安東縣滿鐵遞延償還の斯炭商村某氏は今冬季に於ける一般燃料取分け木炭の騰貴、品不足に着目し試みに十二月中滿洲木炭遞延償産六百俵を輸入し來り自身平壤の當業者を訪ひ賣込みを交渉したれど何れも前記の失敗に鑑み引受くるもの無く纔村某は不得已鐵道局官舎に供給し歸償したる由なるが一説には最初より鐵道官舎の爲めに輸入せりと云ふも確實ならず同木炭は鎮南浦産と同じく目下の鮮産十貫二圓二十錢唱に對し二割方安値なれど品質甚だ劣等なり

○かうした立派な建物と道路との市中で滿洲散舗の不完全から斯う大醜服を著しく不愉快な感じを受ける事は恰度大醜服を著けて靴下の所に分不相應まるもので下水渡びなどの便所の振りたる見せて居る
○陸軍の[illegible]
○大連市として[illegible]

◎大評判
三日で禁煙　煙管を捨て
僅に壹圓拾錢で　壹千圓の生命
[illegible]



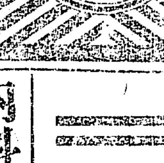
土地建物賣却
所在　西大門外元獨逸領事館跡
土地三百餘坪
煉瓦建住宅壹棟
右土地に付希望の方は京城西小門[illegible]へ御來談被下度候

金子商店
新古官用品[illegible]
京城南山町[illegible]
電話長[illegible]

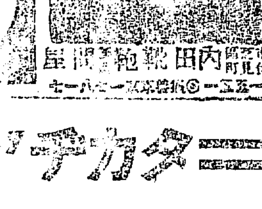
保管證紛失廣告
大正六年十二月十六日付[illegible]
[illegible]右紛失候に付無效に付此段廣告候也
大正七年一月十七日
京城支店

拂下品販賣
[illegible]

大募集
支部長[illegible]
明治功臣行會

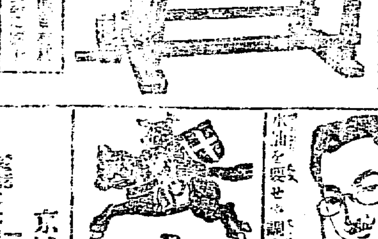


ハガキ印のグリセリンが
かぜねつの最良劑として專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗顯著的確なるに因る



内田靴鞄店

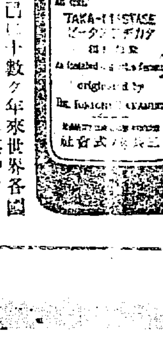
印鑑手帳
大阪[illegible]



特許組太白住製機
國益製[illegible]機

内科　小兒科　呼吸器　胃腸病
外科　内臟。整形外科　梅毒淋病　婦人科　肛門病、皮膚、わきが
入院隨意
學生軍人勞働者藥價輕減
院長　醫學士　齊[illegible]
副院長　醫學士　小川
副院長　醫師　齊[illegible]豊
京城本町五丁目（稻荷座前）
大和病院
電話二〇三
勇清次

ーータカヂアスターゼーー



タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり

外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社が北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各地に之を供給せり

タカヂアスターゼは已に十數ヶ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其効力を確認せられたるものなり

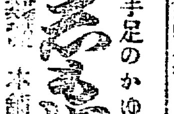
[illegible]

東京室町　三共株式會社

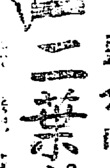
代理店募集
大阪市北區[illegible]

ゴノサルビン
白檀油代用藥
優秀卓絶價格低廉
白檀油大[illegible]

京城永樂町二丁目
電話　一八番　二六〇番
酒井婦人病院
院長　酒井一郎



手足のかゆみいたみがよくなる
さくらげ根切藥
本舗[illegible]

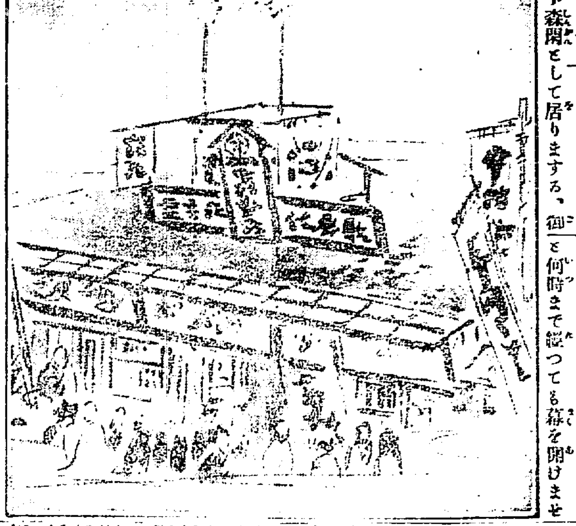


頭分けには
二葉ポマード
紳士の頭髮を飾る高級香油コスメチック

左甚五郎

第百四十二席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

猿若勘三郎は藝名の中村を苗字として家號を舞鶴屋といたしまして其後寛永十一年市村座が建つて、萬治の三年に森田座が建ちました是を三座といふ。中村勘三郎は中橋南小路の芝居小屋へ櫓を上げて銀杏鶴の紋の附いたる幕を張廻して此の櫓で打込みの太鼓を拍せました、昔の芝居は打込みが早うございます。明七ツといふと櫓の上でドン／＼と拍き出す、處が本所深川下谷本町邊りの御家人衆は大手多櫓の六ツの太鼓を間違へて皆急いで登城をする、大手前へ來て見ると未だ一時早いので御門は開かず森閑として居ります。御門の開くまで暗い處で一時の間待つて居る辛さ堪つたものではございません、是が毎日のことでありますから御家人方から苦情が出まして、一同連署して願ひ立た、成程尤もであるといふので、以來芝居小屋の櫓で、太鼓を拍つてはならんといふことになりました、其故芝居小屋には皆櫓が上つて居るものでございます。寛永の十年家光公御城内二の丸に於て中村勘三郎の芝居を見たいといふ仰せがありまして勘三郎は有難く心得一座を引伴れて二の丸へ罷出で芝居狂言を御覧に入れる、さア喜んだのは大奥の女中達、今までの御能狂言と違つて芝居なぞは見たことがありません、どんなことをするのであらうと思ひ樂んで居りまする、然し芝居と云つても其の當時のことでありまする故只今の芝居とは異つて居りまする、踊り所作事といふものを御覧に入れたのでありませう、家光公初め多くの女中衆悉くお喜び、青銅百五十貫文を勘三郎へ下し置かれました、此の事が何時か京都へ聞へたものと見ゑて、畏くも一天萬乘の君が猿若の狂言を御覧に相成るといふので、日野大納言殿より關東へ御沙汰になりました乃で中村勘三郎は有難く御受をいたして倅新發知を同道して上京いたして、日野大納言殿の御館へ參りました、恐なくも御所に於て猿若狂言を天覧になるといふ、畏れ多くも正面の御簾の内に主上出御あらせられて御天覧、此時何うしたものか幕間の永いこと、何時まで經つても幕を開けませんから日野大納言樂屋へ參つて勘三郎に對ひ　日『何で斯樣と手間取るのであるか、早々始めたら宜からう　勘『恐入りましたが、江戸出立の際確に葛籠の中へ入れたと思ひましたが、取落したと見ゑましてございません、其故差支まして　日『何を忘れたか　勘『赤い丸ぐけを失念いたしました　日『何か他の物で間にあはしたら宜しからう　勘『赤くなければ叶けませんので』と云ふによつて日野大納言殿より此の事を奏上すると、御簾の揚卷を取らせる樣にといふ勅命、日野大納言殿より此の事を申し渡したから勘三郎は喜んで、御簾の揚卷を頂戴いたさうと思つたが、何分恐れ多くして進み兼て居りましたスルと小兒といふ者は無邪氣なもの、十歳に相成る新發知　新『阿父さん私が頂いて參ります　勘『コレ／＼恐多とである不禮をしてはならんと云て居る內にバラ／＼蒐けて參り御簾の紐へ手を掛け取らうとしたが丈が足らない傍らに居られたる日野大納言殿の膝へ上つて肩へ足をかけたから　日『是は怪しからん小僧だ』と云つて居る內に頭へ乘つて御簾の紐を解きそれを持つた儘ドン／＼蒐けて行つた甚い小僧だと日野大納言殿も驚いて居る、其內に正面の幕が開くと中村勘三郎裝束を着けて其處へ出る、後に從いて新發知は花色襦子に赤き袖無しを著し赤き紐を三重に卷き、赤き手拭を冠り其處へ出たる時は目の覺る樣に眞紅でございました



痔疾專門
京城明治町二丁目(本町より入る中程)
京城久枝肛門病院
入院隨意　電話二一〇二番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進羽根布團製造修理
京城本町二丁目
貿易商　精元商行
電話二〇六五番　振替京城二四九九番

一月二十日　九星　舊十二月八日　丁卯

牛乳　御用
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

演藝案内

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番

大正館　櫻井町　電話八七三番
お祭佐七　全四卷

京城壽座　電話五七八番
一月十九、廿日(替り藝題)
前狂言　廓文庫石井常右衛門
中狂言　攝州合邦ヶ辻
切狂言　源平魁躑躅扇屋熊谷

黄金館　電話二六三七　二三六六

特撰大寫眞
軍事活劇　女傑
新派　女ごゝろ
舊劇　お祭佐七
十八日より　大正館

有樂館

稻荷座　本町五丁目

日本專賣有權
りん病七日藥
山口藥院

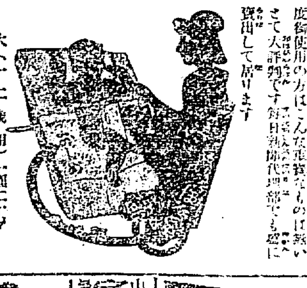
貴金町二丁目長橋町
田村質店
電話二九一六番

わきが

△顯著なる寒時療法

上等　五百組限り大見切
鼠毛布
不思議金指輪進呈
毛布卸商　八千代商會

むつきの改良
意匠二重式マルヤおしめ

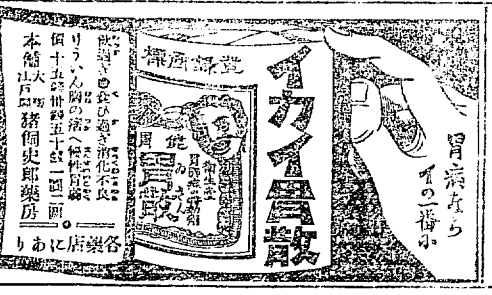


高島屋呉服店は雜貨部に有名薬店雑貨ゴム商に販賣せり

寫眞
京城日報社寫眞製版部

贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四〇番
内科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮

富の道しるべ
村上唯吉共著
京城日報社代理部



胃病ならイの一番
イカイ胃散
本舗大阪　猪飼史郎藥房
各藥店にあり

蛇印　アンチピリン丸
かぜ　ねつ　特效藥
感冒　ねつ　頭痛　麻疹　流行性感冒　リウマチス
用ひよ!!　求めよ!!　なをる!!
大阪　丹平商會

進呈

△牛乳や雞卵は何故美容上有效なのでせうか？　それは牛乳や鷄卵には、純良な蛋白質と中性脂肪とを含んでゐる爲めであります。この事は女學校へお出での令孃方は、どなたも御存知の事でございます。美顔洗粉は種々の原料を一々嚴密に檢べて品質の良い原料を用ひてある上、殊にこの純良な蛋白質と中性脂肪とを丁度適度に含むやうに、數種の特殊原料を加減して用ひてありますから、美容上牛乳や鷄卵を使ふのと變らない効果がある理由になりますのです。

佛蘭西式純白
美顔洗粉
御内意に依り謹製したる品

佛蘭西式純白研究試驗所製

美顔洗粉定價小袋八錢中袋十六錢大袋二十四錢
發賣元桃谷順天館　全國化粧品小間物店にあり

滋養强壯
芳香美味
登録商標
蛇の目印ポートワイン

(現品寫眞版)

本品は最も優良なる天然純良葡萄酒を素とし有効なる補血强壯劑を配合し精製せし醇良無比の甘味滋養葡萄酒なれば御愛飲の御方は消化を助け食慾を進め血を增し肉を肥し殊に誇るべきは精力を强くする等一般御家庭に於て日常御飲用せらるべき絶好の理想的滋養强壯飲料なり

賣捌所は全國到る處の洋酒、和酒、鑵詰、食料品店及藥舖、雜貨店にあり

【類似品あり登録商標◎蛇の目印及松下善四郎に御注意被下度候】

發賣元　洋酒　食料品　罐詰　直輸
煉乳　家庭藥　雜貨　出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
松下善四郎

京城日報

第五版

十九日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川 三之介

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢
廣告料金 五號活字一行金五十錢

▲仁川米（十八日後場）
大阪 堂島 十八日後場 ……

▲十八日後場 大阪鑑らざる入電にて當地先二十圓七十錢と一高に寄付 九錢と

仁川米豆取引所

京城日報

亞細亞振興の機運（一）

現戰局の大勢

支那大總統馮國璋が我が皇陛下に呈したる、年頭の賀詞に「本年を以て新紀元と」爲し……の語あり。吾人も亦日支兩民族の協力一致に由りて亞細亞振興の新紀元を畫せむことを希望するもの也。他無し、歐洲の大戰、宇內の機局は、亞細亞振興の機運を促がしつゝあるを以て也。

歐洲大戰が、大正三年以來四、五、六の三星霜を閱し、第五年に入りて干戈猶ほ未だ歇まず、勝敗の前途逆睹す可からざるものありと雖も、兩交戰國があらむ限りの兵員を召集し、あらむ限りの財貨を費し、あらむ限りの人力を盡し、今や形格勢禁、龍虎交も鬪ふて交も困むと云ふ狀態に在るは、掩ふ可からざる事實也。試に想へ、聯合國の召集總員は三千百萬人以上に達し、革命前の露國の千六百萬を除くも、英國は五百三十萬、佛國は六百六十萬、伊國は三百五十萬を召集し、獨墺土勃同盟國の召集總數は二千三百九十萬人に達し、其の內、獨逸は千百六十萬、墺匈は八百七十萬、土國は二百五十萬、勃國は百萬以上を召集しつゝあるに非ずや。各兩交戰國の三箇年戰費は約二千億圓に達し、其內、英國は四百五十三億圓一日の戰費平均六千二百四十八萬圓、佛國は三百億圓、一日の戰費二千九百五萬圓、獨逸は三百七十八億圓、一日の戰費四千七百七十萬圓、墺匈は二百十七億圓、一日の戰費二千五百七十五萬圓に達し居れるに非ずや。聯合國は殆んど世界の海上權を掌握しつゝありと雖も、猶ほ且つ獨逸潜水艇の跋扈を奈何ともすること能はず。開戰以來、昨年一月迄に、其の喪失せる商船の數千八百八十七隻、三百八十五萬噸に及べりと云ふに非ずや。米國の參戰は、聯合國に取りて、無上の一大後援なるに相違なしと雖も、米國の今日迄歐洲戰線に送りし兵數は、約十萬に過ぎず。所謂鞭の長きも馬腹に及ばざるの觀なくむば非ず。

此時に當り、現戰局の大勢に一變化し、宇內政局の均勢に重大なる影響を與へつゝあるもの、聯合國の中堅たる露國が革命以來、無政府的狀態を現出しつゝあること、是れ也。露國過激派政府が聯合國との協約を無視し、聯合國の羈絆を脫して獨墺と休戰條約を締結し、更に進んで單獨講和を締結せむとするの形勢を呈しつゝあること是也。何も露獨の單獨講和にして成立せむ乎、是れ宇內機局の變にして、聯合國は最大危機に遭遇することを覺悟せざる可からず。

顧ふに露獨單獨講和の成否如何は、猶ほ未だ知る可からずと雖も、萬一露獨單獨講和にして成立するが如きあらば、其の影響を受くるもの、豈に獨り聯合國の主力たる英佛諸國のみならむや、東邦に位する日支兩國も亦其の影響を被むること、決して尠少ならざることを覺悟し、豫じめ之に備ふる所無かる可からず。

在郷軍人會の發展策（四）

官民の努力を望む

高橋綏次郎

尙在郷軍人は地方青年の指導誘掖に大なる關係を有して居る即ち地方の青年は他日入營し第二の國民たるべきものであるから良好なる青年を得て又良好なる第二の國民を得ん樣と思へば良好なる青年を得なければならぬ殊に戰時に於ては國者は兵の質を擧げねばならぬから平時青年をして質實剛健の氣風を養成し、規律協同の習慣を得せしむる爲め在郷軍人自から其範を示して之を指導すること極めて緊要である

近頃民精神の荒頽に依り義勇奉公[illegible]個人主義流行し自己の利益の爲にはに輕薄他を賣つて憚らぬのみならず往々國家の利益をも犧牲とすることを辭せず服從、規律、協同の美風廢れて極端なる自由歡迎せられ放肆にして度を知らず長上を凌ぎ節制を棄り社會を無秩序の中に紊らんとし勤儉尚武の堅實なる思想頽れて驕奢惰弱の風滔々として社會に瀰りつゝあり、されば軍人精神即ち國民精神を鍛錬し軍紀即ち社會的綱紀に慣れ其の綱紀よりするも年齡よりするも鄕黨の中心たるべき在郷軍人にして各自の業務に勵精するは勿論公益に力を盡し此に國民の模範典型となり其重責を全ふすることを期するに於いては質實にして穩健勤儉にして尚武の氣風を馴致し社會の惡風潮を矯正し以て國民の精神思想に偉大の影響を及ぼし[illegible]に善良となり國家の隆運に貢献すること頗る大なりとす之れ地方の風教公益及び産業等の上から在郷軍人をして相砥礪し益々良民としての價値を增進させ在郷軍人會をして益々堅實に發展せしめざるべからず

在郷軍人會が大に發展すべきものなるに拘らず未だ十分の發展を遂げざる所以のものは原因種々あらん●主に在郷軍人の努力尚足らざることゝ之を指導すべき責任者及び之に協力すべき軍部の者並に其指導及び協力に於て尙向上の餘地あると地方官民に於て在鄕軍人の爲め必要の自覺十分ならざる爲め同情心盛り立てんとする精神の不足と同旨の實狀を知らざる爲め之を不足なるとに依るもの多きならんと推す之より尚ほ詳しく之等に就き敍述し且如何にして之を發展せしめ得るかを述ぶべし

一、在●郷●軍●人●に●就●て●

軍隊內にては其々法規あり下級者は上官の命令に對しては絕對に之に服從せざるべからざることゝなり居るのみならず職權の命ずる所に從ひ他の者を監督指導し又階級及び新古に從ひ其々嚴重に儀式を守ることゝなり居り其秩序誠に整然たるものありされど在郷軍人間にては一の規約あるのみにて命令系統なく又制裁の方法もなく唯各人の自由意志に依て行動し其團結は一に各自の犠牲的精神及び協同心に待つのみなれば分會長の會員に對する統一を缺き易く殊に個人の社會上の地位指導は頗る困難にて兎角統一を缺と軍隊に於ける個人の階級とは調和せず會合は富有なる大家の主人にして一二等卒あり地方の名望家にして軍人としての階級低きものあり之に反し郷黨に於て重視せられざるものにして階級高きものあり是等の事情よりして會員各自從つて役員の選定及び會合の際に於て意外に不便を感ずることあり是等の事情よりして會員各自心を相協同公益の爲めに進で私心を感情を捨て條理に走らず[illegible]め建設を企圖し協調合同の發展に努力する協同心をることが最も大切である

遊支偶錄

（十）難有迷惑

蘇峰生

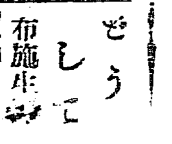
日支親善とは、近來の極り文句にして、宛も對臉の挨拶同樣也。斯く思ふ者も斯く云ひ、斯く思はざる者も又た斯く云ふ。特に辭令に巧なる支那人としては、云ふ丈にて損なき文句なれば、固より言葉に於て、日支親善の大安賣を爲すも、決して偶然にあらず。併し親善の文句の裏には、不親善の事實ありと知る可し。若し今日の儘にて、日支親善が行はれゆくものと思ふ者あらば、此より大なる見當違はなかる可し。

已に親善と云へば、親善の實を示さゞる可らず。知らず日本は如何なる事實を、支那に向て示したる乎。日本の立場より云へば、支那の獨立も、日本の力によりて保障し、支那の平和も、日本の力によりて維持し、支那の進步も、日本の力によりて誘掖したりと云ふを得可し。是れ必らずしも、日本人のみに通用する理窟にあらず。支那人たりとて、若し虛心平氣に考へなば、幾分か自から首肯する節もなきにあらざる可し。

併し正直の所、支那人としては、別に之を難有しとも、忝けなしとも思はざる也。露骨に云へば、日本人が自から恩に著する程、支那人は恩に著ざる也。恩に著ざるのみならば、まだしもの事、恐らくは恩を仇として考へ居る者も、少からざる可し。

日支親善も結構也。されど日本人の親善は、猶は酒客が下戶に向て、酒を强ふるが如き親善の仕方也。己が欲する所、之を人に施せとは、聖人の教なれども、己が流儀を他に强ふるは必らずしも、欲する所を施すものと云ふ可らず。若し酒客が、汁粉を他より强ひらるゝか閉口ならば、下戶も酒を强ひらるゝは、閉口たるや論なし。乃ち己が欲せざる所、人に施す勿れとは此の事也。

兎角日本人が支那を解せず、支那人を解せず、又た解せんことを勉めず、唯だ短慮一徹に、我が思ふ所を、遠慮會釋もなく、之を支那及び支那人に施し、而して是れ支那の親善なりと云ふに到りては、下戶の頭上より酒を浴せかけて、自から快なりとするの類にして、下戶の身に取りては、眞に難有迷惑たる可し。



どうして（四十四）

布施生

君はそれとしてこちらの此方は ため其男も大丈夫です』『宜しい、それぢやあ打明けてお話致します』

武烈氏は額に八の字を寄せてもつかしい顏をした、思ふに氏が他人の前で自分の腹を打明けるのは一生に今が始めてなのであらう、やゝあつて覺悟を極めたらしく、

『憶な事に父の名を出すのは不本意ぢやが仕方がない、私の父と云ふのは片意地な人であつた、私に家名を汚させてはならぬと云ふ懸念から父は私に私が年頃になつても家名に瑕をつけたかつたら其時始めて自分の望を父に打明けるがい、其望は直に聞いてやるからと繰返し／＼小供の時から言聞かせた、萬一放蕩するか、乃至は名の瑕になるやうな職業に就くか、そんな事で父の意に反くやうな事があれば父はもう私を子と思はない、隨つて金も出して貰へなくなるのであつた。

そんな調子であつたから私が年頃になつて從姊妹の由緣に思を寄せると私は何より先に父は二人が一所になる事を許してくれるだらうかと探つてみた、不幸にも父はそれに大反對だと云ふ事が分つたので私は全然失望して長い間其失望を隱すに苦んだ、初めは旅行でもして忘れやうとして目的もなく諸方を彷徨て步いた、處が生憎と可愛らしい婦人に會ふ每に餘計に從姊妹の事が懷出される、實際私は此從姊妹の外に世界に女は無いやうに思詰めてゐたのであつた、旅行で駄目だから今度は私は遊獵に耽つてみた、獵場と云ふ獵場はどんな田舍でも私が往かぬ處はない位であつた、其內不圖した事でとう／＼一生の大事件が出來上つた勿論其時は茶漬を食ふ位に輕く思つたのだつたが』。

丁度ヴェシネの旅から歸つて山北の秋景色にあこがれて居る時であつた、其邊の田舍に遊んでゐた友人から思懸なく手紙が來て、[illegible]の町まで會ひに來い今度は風變りな[illegible]をやらうと誘つてきた、いそれと言ふので早速承知の返事を出して翌日こゝを出懸けた、所が思つたよりは行惡い路で第一町と言ふのは名ばかりで實は山の眞中何方を見ても鐵道から二十哩も離れてゐると云ふ邊介な處であつた、其處へ往くには乘合馬車かもつと急げば馬を走らせる外は無い、私は馬に乘つて出懸けたが何分不案內の路で晚になつてもまだ目的の町には着かず途中の山の中に彷徨てゐた、氣が急いて無暗に馬を急がせると馬の奴め不意に足を痛めてとう／＼跛足を引出した、もう打つても敲いても驅るあてはない、心細くはあるし焦々してゐると不圖遠方に窓から漏れる燈の光が目に入つた、段々近付いてみると從目にも知れるそれは宿屋であつた、嬉しいので入口は堅く閉ぢてあつたが案內に應じて男が一人提灯を手にして現はれた、私は早速今晚泊りたい馬の世話を賴むと言入れると出て來た男は世辭もなく『賤な晚でございます、明日はもつと賤なお天氣になりますせ』言ひながら戶を廣くあけてくれた、男の言葉に違はず此時もう徐々風が吹出して開放した戶はたえず爆られる、同時に庭木がざう／＼と搖り出す音が聞えた。『お客樣、此方へお上りなされませ、雨が降つて參ります』言はれて私は直に馬から飛降り風に爆られる戶を推開けて中へ這入つた、途端に出て來た別の男は靜に明るい燈のともつた奧の部屋を指したまゝ言葉もなく彼の男と一處になつて馬の始末をしてくれた、私は默つて言はれたまゝに奧の部屋に足踏入れやうとして不圖見ると美しい若い娘が一人煖爐の傍に坐つてゐる、思懸なさに私は思はず立淀むと娘も慌てゝ立上つて淑やかに頭をさげながら物問ひたげな顏をした、田舍に若い娘が居たとて何も別段不思議は無い、唯不相應と思ふ程娘は餘り美しかつた、一目見たばかりながら私はもうぞつとした、姿のやゝ細やかなのも色のやゝ淺黑いのも、編んで胸に垂した髮の結方の田舍めいたのも其娘が一目見た眼の力、何とも言へない力に比べてはもう問題にならなかつた、私は思はず脫帽した。

最新刊

化學工業博覽會 實業界社刊 一八〇
美術的建築 中村與資平譯 九〇〇
標準工場設備 野田 一三〇〇
株式賣買 井羽 八〇〇
支那佛教 ……
努力 ……
英國風物 ……
夢と心理 ……
人心觀破法 ……
評譯書 ……
支那文學 ……
羅馬の女 ……
二人の探偵 ……
女一人 ……
英文頓智と謎 ……
修養日訓 ……

大阪屋號書店

生徒募集

入學出願期日 三月二十五日マデ
入學試驗期日 三月二十七日同廿八日同廿九日
其ノ他詳細ハ本校ニ就キ承合スベシ
朝鮮總督府 官立
京城專修學校

通信教授

東京市本鄉區眞砂町

少年世界

二月號 少年少女雜誌の中で一番面白い
空中魔臺の發明
ワシントンの葵豆
海底の怪物
新考案の「足柄山」くらべ
特別附錄 紙上遊戲
定價一冊 拾參錢 郵税五厘

少女世界

琴が濱（小說）
マーシャの贈り物
乳屋の姉妹
私の癖をなほした話
定價一冊 拾參錢 郵税五厘

東京市本町 博文館

繁昌創立明治二十八年
時計及蓄音器卸商
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電話一〇一五・振替京城七八二

恩給年金
安利 退隱料 立替 五年
湊屋兩替店 大阪道頓堀

謹告

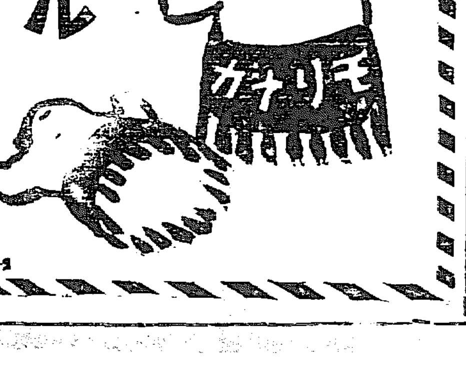
近寒之候各位益々御隆昌の事と慶賀至極に存候陳者弊工所儀各位の御同情に依り日に增し隆盛に趣き候段是れ偏に各位の御愛顧に依るものと感謝に堪へず候就は今回平素の御眷顧に報ゆる爲め左記の個所に販賣部を開設し以て薄利多賣を旨とし猶御注文に對しては一層の迅速と丁寧を以て大勉強可仕候間何卒舊倍の御愛顧を賜り多少に不拘御用命仰付被下度偏に奉希上候 敬具

京城南大門通五丁目
販賣部 東生商店
店主 東生龜吉
電話二六一九番 電信略號（卜） 振替口座京城四八八番

諸機械、鑛山具、馬具、銅鐵、其他商品、鑄物一式

京城蓬萊町一丁目
製作所 東生鐵工所
電話一四九二番

醸造元 合名會社清力商店
清力京城支店
江原道春川 清力出張店
清力釜山支店
清力平壤支店



天下無敵
實質の拔群！
能力の卓越！
森永 ミルクキャラメル

健康となる金科玉條は
美味滋養
蜂印香竄葡萄酒を
毎食前飲用するにあり
さすれば血を增し肉を肥し
知らず識らず健康體となる
金牌二十四個
蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を主成分とし補血强壯料を加へ特製せる眞品なり

○レーニン政府承認

△英國政府非公式に

英國下院に於て外相バルフォア氏は英國政府と露國過激派政府との間に非公式國際關係設定せられたる旨を發表せり（倫敦電報）

○レーニン狙撃さる

露都來電＝[illegible]へ出發せんとせし[illegible]る赤衛軍見送りの歸途を要し過激派政府首相レーニン氏はピストルにて四發狙擊されたるも命中せず危害を[illegible]れたるが從者一名負傷せり（倫敦電報）

○羅國館員監禁さる

[illegible]公使館員を[illegible]捕へてペトロールに禁錮せり（倫敦電報）

○臭い佛國前首相

▽カイヨー氏に關する密電暴露

米國々務省は二通の差押へたる電報を發表せるが一は前駐米獨逸大使ベルンストルフ伯と伯林外務省間に交換せられたる佛國前首相カイヨー氏に關する密報にして他は獨逸帝國官と在佛獨逸領事との間にカイヨー氏の事に關し一獨逸新聞紙に揭載する事を禁せんとしたる電報也第一のベルンストルフ伯の電報はカイヨー氏が佛國政府に關し種々言及したる罪跡を含み獨逸新聞紙に對し紙上にて[illegible]カイヨー氏を[illegible]す可からずと警告せるもの也第二の電報はカイヨー氏は[illegible]汽船に便乘して出發せんとし居れるが同船長は重要書類を携帶せるを以て獨逸潜航艇をして同船を拿捕せしめんと謀りたることを明かにし且つ其の汽船にして拿捕せられたる際はカイヨー氏に對し出來得る限り鄭重なる取扱ひを爲さん事を望むと云へり（華盛頓電報）

○カ氏捕縛の理由

カイヨー氏が巴里にて捕縛されたるは實に國務卿ランシング氏が押收したる亞爾然丁駐在獨逸公使代理ラクスブルグ氏と伯林政府との往復密電中よりカイヨー氏に關する部分を巴里に轉送したる爲めなりと云ふ（紐育電報）

○佛兵手當增額案

戰線に於ける佛國兵の戰時手當月給を一法より三法に增額せんとする法案議會に提出されたり（巴里電報）

○米國石炭大缺乏

米國の石炭缺乏は益々甚だしく紡績業は困難の狀態にあり（桑港電報）

○大冶縣暴徒蜂起

湖北大冶縣に暴徒蜂起し猖獗なり（北京特電）

○福建攻擊軍出發

孫文氏は李烈鈞、陳炯明の二氏と[illegible]軍の總司令官となり福建を攻擊すべく近く廣東を出發すべし此の行動は即ち軍政府の解散を意味するものなり陳炯明軍は二十一箇大隊にして十八日と廿五日との二回に出動すべく程璧光氏の海軍も福建攻擊に參加すべしと（北京特電）

○新造艦體研究

海軍省に於ては歐洲戰の經驗[illegible]堅牢を加へ又た某艦よりは備砲を[illegible]もヨリ大口徑のものを据付くるを[illegible]となり居るが巡洋艦に至つては[illegible]

○渡米禁止

米政府の命令

橫濱の米國領事館は十六日日本國政府より當分の間日本より渡米する者の旅券に裏書するを中止せよとの電命に依り直ちに其の理由と中止期間を本國政府に問ひ質すと同時に即日裏書を中止し旅客の旅券を預りおり爲めに旅客は孰れも渡米を見合はすの外無く汽船會社移民會社は米國領事館に對し種々交渉を重ねつゝあり（東京特電）

○梁士詒氏西下

來鮮せず

前交通部次長梁士詒氏は十七[illegible]十八日[illegible]二十日大連[illegible]二十一日[illegible]（奉天特電）

○駐米大使後任

松井駐佛大使說

歸朝の途に在る駐米大使佐藤愛麿氏の後任には駐佛大使松井慶四郎氏の呼聲高し（東京電報）

○奉天防疫手配

天津のペストは無根

山海關外のペスト蔓延に就ては奉天日本總領事館にても目下支那官憲と協議し種々防疫の手配中なるが十八日天津松平總領事發當地總領事宛の電報に依れば天津のペストは全く事實無根にして右は天津支那官憲が[illegible]せるを北京日報が[illegible]報道せるに基くものなり但し[illegible]同地との交通頻繁なる奉天に取りては由々敷大事なれば當地日本官憲にては夫々手配中なりと（奉天特電）

□宮中歌御會始

十八日午前十時宮中[illegible]に於て歌御會始を行はせられたり御製左の如し（東京特電）

御製

しほかぜの　からきにたへて
えだぶりの　みなたくましき
いそのまつはら

皇后宮御歌

いそちかき　やまよりみれば
めもはるに　まつこそつゞけ
うらのまさこち

○高等普通教育案

臨時教育會議總會にて＝原案可決　議審

【東京特電】臨時教育會議總會は十七日午前十時首相官邸にて開會高等普通教育に關する議案に對し審議討論を爲し結局出席議員二十五名中山川健次郎、木場貞長兩氏の反對あるのみにて左の原案を可決せり

▲答申案の綱領

一、高等學校は高等普通教育を授くる所とす
二、高等學校の修業年限は三年とす
三、高等學校一學年には中學第四年修了者を入學せしむ
四、高等學校は官立、公立、私立（財團法人）とす
五、高等學校は單獨に之を設置し又は尋常科四年高等科三年合計修業年限七年の制にて之を設置する事を得しむ
六、高等學校及び七年制高等學校の高等科の學科を分ちて文科及び理科とす
七、右に於て外國語は之を隨意科とす
八、高等科三年を終りたる者は帝國大學に入學する事を得しむ
九、高等學校及び七年制高等學校の高等科は二學年の科程の上に更らに修業年限一年の科程を置く事を得しめ此の科程を修りたる者は相當の稱號を附與す
十、中學校の修業年限は現制の通りとす

○商議評議員會

炭價調節陳情問題附議

京城商業會議所にては十八日午後二時半より東拓開議室に評議員會を開催し先づ商業部委員會の決議に基き炭價引下問題に關し總督に陳情書提出の件を附議する所ありたり是れより先き原田會頭不參の故を以つて副會頭釘本氏議長席に著き開會を宣し直ちに

▲議事に入り　議長は[illegible]

▲職責の一面　[illegible]

▲容易に決せず　[illegible]

▲共通的に使用　[illegible]

□選歌

[illegible]

○日露貿易近況

[illegible]

○海外興業增資

伯剌西拓殖會社を併合し[illegible]

○京城製糸會社許可

[illegible]

○製菓會社許可

[illegible]

○高女學校長會議

[illegible]

○委員會の決議

[illegible]

○滿鐵の所設置地

[illegible]

○鳥居氏の講演

[illegible]

○警察事務講習會

[illegible]

○被新聞輕鐵

[illegible]

○薬品交換會

[illegible]

京日案內

陸軍御用　佐藤古著店

純金指環　[illegible]時計舖

地方各位に謹告

拜啓凡そ今日の商業に於て時勢に適し且つ取扱の迅速を期せんとするものは委託賣買に依らざるべからざるは世人の既に熟知せらるゝ處に御座候得共若し信用と實行とが相伴はざるに於ては折角の便法も此點に於て遺憾なきを期し[illegible]

京城黃金町二丁目　四海委託販賣部

朝鮮語會話

京城日報社代理部
賣捌所　京城[illegible]
取次所　大阪屋號、巖松堂、京日各支局

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
朝鮮肥料製造所　京城東大門外紅箭町　電話二六三五番
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
朝日石鹼製造所　京城崎町一四番地　電話二五九六七四番　振替口座京城〇〇四番

內科　呼吸器病　胃腸病喘息　リユマチス
小兒科
山田病院　院主　山田萬作　京城本町一丁目四十[illegible]

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
本店　京城
支店　東京、大阪、神戶、平壤、元山、大邱、釜山、鎮南浦、群山、木浦、馬山、新義州、仁川、大連、奉天、長春、開原、四平街、安東、哈爾賓、龍井村、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、傅家甸
出張所　右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

質　杉本質店　京城櫻井町一丁目二六番地　電話二一〇三番

鑛物各種分析　田部分析所

恩給　年金　低利　立替　西村商會

オキシヘーラ

▲李王世子殿下の朝鮮步兵隊操練御覽(殿下の左なるは宇都宮軍司令官)

日本料理を御會食

▽來る二十日石造殿の御催し

李太王、李王兩殿下には御初めて催した御物語が御心をそゝる

膳部は千代本から御調進

十七日夜、昌慶宮植物園本館に於ける晩餐會の御席上李王世子は李王殿下に向はせられ頻りに日本食の美味なることを御物語あり王殿下も此の御話に彩からず打興ぜられ『左まで美味なるものならば

■一度試食し たきものなり』と仰せられしかば、世子は『さらば恰度幸ひなる事あり來る二十日の日曜日は終日休養して午餐には父君と共に日本料理を試食する心算なれば御兄君にも御同席遊ばされては如何にや』を物語られしにぞ左なきだに王殿下は昨年より自由に召上らるゝ事とて『通は思ひ掛けぬ好き機會なり是非其の席に臨みたし』とて傍らなる國分次官に

■初めて和食 を進め奉る次第なれば、御庖に仰せに從ひ御食事の準備は些かも差違へなき様にと[illegible]二十日は御父子御三方の和食御賞翫を石造殿にて催させらるゝ御事となれり、而して一方李王職にては御兩方の御常食が僅かに

■御模樣替へ となり廿六人前を調理する事となりしが、料理にも吟味を重ぬべき必要起り選擇の末、千代本に命じて調進せしむる事となりしが、其の献立は未だ決定せざるも御兩方とも初めての事なれば成る可く平素の御口に叶ふ樣謹製せしむべしと承はる

▲機業場御視察

李王世子殿下には午後二時[illegible]御出門[illegible]に恩賜授産機業場に成らせられ、宇佐美內務部長官、松永京畿道長官、俞參與官、金谷京城府尹[illegible]小松事務官及び機業場職員[illegible]の御出迎へあり休憩室にて小松事務官より御說明を聽かれたる上場內御巡覽、約十分にして再び自動車に召されて鍾路三丁目より光化門通に出で朝鮮步兵隊へと向はる

▲教練振りに御感嘆

朝鮮步兵隊御檢閱

[illegible]李王世子殿下には[illegible]朝鮮步兵隊へ[illegible]栗原大佐其他多數の出迎へを受けられ四時二十分將校集會所に於て同隊少尉以上十五名を御引見の後、栗原大佐の御案內にて

■營內御巡覽 殿下は[illegible]韓國政府時代近衛隊に[illegible]

■飯盒に盛り たる飯を御覽ぜられて『此れ許りの飯では兵卒には充分であるまい』と傍らに[illegible]炊事當直に御問ありたるには[illegible]下々を要させ給ふところより細かき處にまで御心を配らせらるゝかと一同感激の外なかりし殿下には北漢山[illegible]

■砂塵を吹き 捲く營庭に於て郡正尉の指揮する二中隊の教練を御覽ぜられたるが、規律嚴正たる日本軍隊に於て御訓練を受けられし殿下も其の隊伍整々として一絲亂れざる訓練振りには御感心遊されしやにて、傍へに立ちたる宇都宮軍司令官に向つて[illegible]

■老幼區々の [illegible]訓練は頗る宜く出來たり』と申さ[illegible]

▲遞信當局の談

[illegible]船舶の建造に於てのみ利便多しと云ふにあらず假へば足袋或はカラーの如き廣く一般的の所たるを問はず直に殆ど一定の標準に從つて[illegible]

▲恩師御招待

李王世子殿下には來る二十日午前十時より元英語教師なりし[illegible]石造殿接見室に於て御招待成り茶菓の饗應遊さるゝ由

露國廢帝女優と結婚

皇后を離縁して

[illegible]

坂元中尉墜落原因

▽航空隊發表

所澤航空隊は坂元中尉墜落の原因に就き左の如く發表せり(東京特電)

坂元中尉は制式第二號機試驗の為め十七日午前九時先づ發動機の冷却器內に溫水を滿したるに溫度低き為め一部の溫水氷結し

■循環不良の 為め一時運轉を中止して檢查を行ひ再び運轉せるに順調となり九時十八分北方に向ひ離陸せるが排氣孔より黑煙を揚げつゝ東北隅に達する時發動機不良となり操縦者も之を感知して入場せんとて高さ四十米突にて旋回しつゝ

■高度を減じ 更に機首の墜落箇所地上十五米突の所にて逆さに傾斜しつゝ頭部を下にして直立の姿勢を為し地上に激突し其の際飛行機の油槽發動機の後部にて折れ中尉は發動機の第六シリンダーにて前額部を撃ち即死せり墜落の原因は發動機の

■牽引力一部 減退せるに離陸し場內に着陸せんとせし時[illegible]

●菊池芳文畫伯

京都の畫家菊池芳文氏は十八日朝[illegible]逝去せり[illegible]

●住宅と三時間

[illegible]

●尾を出した黑鼠

[illegible]

●近江人會の窮民救濟義捐金

[illegible]

●電車火を吐く

[illegible]

●小火

[illegible]

貧民救助[illegible]

春場所大相撲

八日目 十八日午後九時著東京特電

[illegible]

栃木山 突出し 伊勢濱

大鳴門 [illegible] 兩國

千葉崎 踏切り 大錦

[illegible]

▲千葉崎に大錦

[illegible]

▲大鳴門に兩國

[illegible]

▲伊勢濱に栃木山

[illegible]

△九日目取組

[illegible]

▲休場力士

[illegible]

春場所星取表

[illegible]

●南會社合併

[illegible]

資本金壹百萬圓　株式會社漢湖農工銀行　京城　支店 開城、春川、大田、江景、公州、所在地 清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院　普通銀行業務は確實親切に御取扱可申

外科　花柳病　內科　小兒科　婦人科　京城南山町二丁目　宮崎醫院

大日本優等清酒　品質純良　衛生無害　釀造元　嘉納合名會社　發賣元　前田酒店

眼科專門　入院自由　京城　江頭眼科醫院　江頭富雄

一服で必ずキク　守妙　婦人冷込藥

服んで初めて真價が知れる　かぜねつ

京城西小門町二番地　田中丸病院　院長 醫學士 田中丸治平　副院長 醫師 上野和夫　【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

米穀調製器　收穫用器具　竹製消火器　朝鮮勸農商會

長岡商店

雜貨問屋　明治屋本店

洋酒　罐詰　糖粉　商

藥種　醫療器械　賣藥　卸商　大黑南海堂

釜山商品案內

櫻御殿

第百廿五回　大阪　霞の家主人

二人士（三）

民部は面白からぬ面をして、奥の間から歸つて來た、杉戸の際に家來の林百助が控へて居た

「申し上げます」

「何事ぢや」

「屈竟の士を得て參りました」

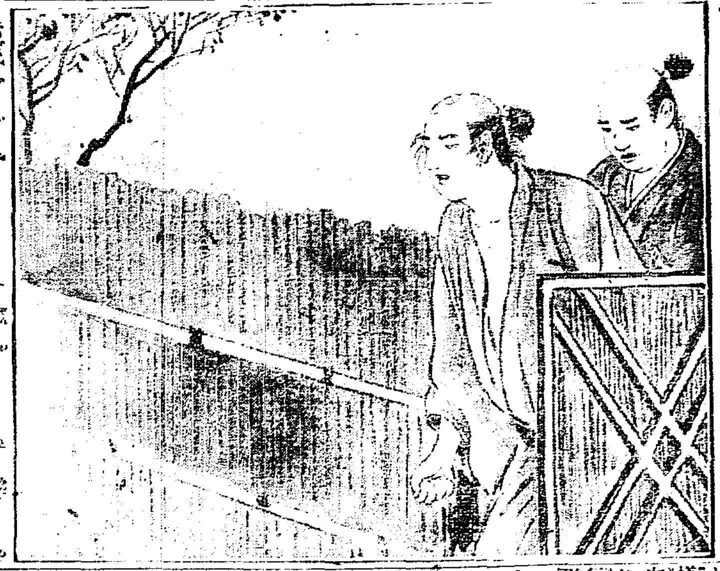
「おゝ」とや、機嫌を直して「何れの者ぢや」

「尾張者らしう見ゑまする」

「犬が居るぞ、氣を付けねばならぬ」

「まづ御一覽あらせられませ」

「何れにある」



「仲間部屋へ入れ置きました」

「仕官の儀、納得致したか」

「いや、その邊何の申し聞けも致しませぬ」

「さらば何として」

「例の藥を用ひました」

「何は然れ、緣側へ伴れて參れ、最早や覺めて居るであらう」

「心得てござります」

百助は委細を領して去る、民部はその後を見送つたが、深い考へに沈みながら、おのれの居間の八疊へ入つた

八疊は南向の座敷で、庭一面に秋草が咲き亂れて居る、民部は渡邊家の家來でも、第一に指を折られる權臣であるから、家の構ゐも見苦しくない

座に就くを機會に、內子であらう、二十八九の淑かな女が、紫の吊紗に赤樂の茶碗を乘せて薄茶を運ぶ。民部は無言で飲み終る、女も無言のまゝに去る

此の時、庭の枝折戸を押し開けて、百助が凛なしく扮裝つた旅の士を伴れて來た、年紀は三十二三、筋骨逞しく日の色清く輝いて日に燒けた面が凄いほど蒼味を帶んで居る、兩刀は佩して無い、麻醉藥でも服まされて、生體も無く座敷へ入つた間に、取り上げられたものらしい、庭傳ひにすつと入つて緣前に突立つた

民部はその樣が普通の士らしくは見ゑぬので、まづ聲を厚して

「存じ掛けない、取り亂しては居るが、兎も角これへお上りめされ」と程好き處へ座を與へた

旅士はじろ〳〵と四邊を見て「當家の御主人はお手前か」と訊く、その聲に怒氣が溢れる

「御意ぢや、お見知り置き下されへ」

「身共に何の恨みあつて、斯樣な憂目に會はされ申すか、取り敢へずその理由が承りたく存じ申す」

「いや、別に仔細はない、兎も角これへお上り召され、家來の者が何か失禮申し上げたであらうが、お詫はこれにて申し上げる、まづ〳〵」と民部は云ふ

「仔細を承はらぬ中は參られぬ、身共に何の恨みあつて、武士にあるまじき恥辱をお與へなされたか、返答の模樣に由つては、その分では差し置き難い、篤と理を仰せられへ」

旅士は目の色を險しうした

「申し上げろ〳〵、それよりもまづ承はらねばならぬ儀は、其許の生國ぢや、只今のお身の上ぢや、拙者はお聞き及びあらせたまふ如く、渡邊內藏之介家來石川民部ぢや、まづ御姓名を仰せられへ」

民部はいよ〳〵聲を厚うして云ふ、旅士は暫く考へて

「姓名のみを申し上げる、大矢田助左衞門でござる」

「何は然れ、折り入つて申し談じたい事もある、まづ此へ」と再び招じた

什麼な型の洋服が流行るか

◇地質　地質としては一般に柔かくして、光澤に富んだもの、模樣が明るくて淡彩のものを好む傾向が、昨年來著しく目立つて來たが、此の傾嚮は本年も引續き流行界を支配すると思ふ。例へば縮緬のお召の如きも、昨今は兎角地の細い錦紗の類が喜ばれ、男物とても、綿織風のものよりは、高貴織風又は綾織縞風のものが喜ばれて居る之れ亦今年の流行の主要なるものであらう

◇洋服　次に男物の洋服であるが、これは大した變化もなかろうと思ふ。といふのは、洋服の型の變化は餘り素人の氣付かぬ極めて些細な點にあるからで、從つて流行といへば目下歐米に流行して居る新型を日本人向きに作り上げたのが、言はゞ本年の流行である。目下歐米に於て最も流行して居る洋服の型は凡て尤もオバーも丈が短くなつて居る特に米國の流行はズボンが非常に細く、背廣やオバー等は、胴中を強く締た形である。それに反して英國ではズボンが非常に太い。日本人としては、座居する場合が多いから、米國流の細いのでは坐る事も六ケ敷いわけで自然英國の流行を歡迎する。又襟返りは英國も米國も共に大きくなつて居る。

◇オバー　洋服のスタイルの急所は要するに此の襟返りで次に胴の太さ、ズボンの太さ、袖の太さといふ順序であるが、目下の流行としてのも一つの特長は袖が非常に細くなつた事で概して言へば英國の新型が最も日本人の身體と生活とに適する事にある。オバーコートなども同じ米國でも種々の型があつて、隨分ルーズなものも流行つて居るが、近頃は又た、ラクラン型といつて、肩に縫目のあるものが、若紳士向として歡迎されて居る。これ等は本年のオバーコートの流行型ではあるまいかと思ふ。

◇ズボン　尤も米國の細いズボンも今年中には早晩英國風に大くなるであらう、そしてもつと丈が長目になるであらう。日本人は凡て何でも目立つものを好む風があるから、際目の流行しましたのは結局納まらぬ事になる實地としては、背廣には主としてアルパカを用ふるが、普通上流の紳士になると、繻子を使ふ。又今まで袖裏だけに使つた綾織を全體共裏にすることになつた、地方へ行くと綿裏でも袖裏だけは綸羅をつかつて居るが歐米では專ら共裏を使つて居る。（東京某洋服店談）

皮膚科　皮膚病　黴毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
京城明治町二丁目（元曙町）
佐藤醫院（電話一七三番）
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄

日報俳壇

（府第山房より）短日の煤煙がながれ行人を侮る懷ろ手と言ふことがなくなり短日
幼きは幼な蒲團を展てなすこに
水仙の挿花に傾ぐ句作士もな
水仙が水のわがまゝこゝろ知るなし
蒲團を干してすつかり忘れてゐたこと
蜜柑が錦が手に染み對かいにけりな
　　　　　　　浮碧樓　—一、一六—

■靴音の闇　　平壌　鴨原
風にとざす酒幕の灯がもろし闇
風に吹かれて灰空に消えた小鳥等
風の廣野を戻り來て街の灯がおぼろ
灰色の空暮れて寒き風に暮る
一日勞れて夜を戻る職工の姿
夜風冷たう監獄の塀に流れたり
山の深さ沼の青さに一ツの家あり
篝罩めし沼の朝水鳥羽搏く
芒そよぐ風となり沼は暮始むる
夜警の巡査の靴音の闇
雪除けのボ等に雪が煌めける
屋根の雪に落葉埋れる朝なり
赤き車が挽かれゆく黄昏の街
冬日たまる街角に集へるチゲ等
黄昏の路次晴く犬が逐はれたり

■われ生けるや　釜山　恋雨樓
冬田に殘る我が足跡の水溜りよ
海まで逃ろものなく野つもれり
水鳥が張りつめし氷の上に啼けり
雪しん〳〵と降りつもる靜けさや
雪に埋れし大野辿り往く吾生かな
水鳥飛び立ち腹の白さ見ひけり
川庭まで氷る夜の水鳥の叫び
川波立ちし儘なるが氷張りつゝし

新刊紹介

▲大斜新報（五段野澤竹朝著）　聞非大斜神の秘法を公開せる斯界の珍書にして圖解三百餘、大斜百か西大斜手相の奥義を公けにしたるものなり（部）古今名家大斜首戦あり（上中下三冊一圓八十錢東京日本橋區通旅籠町一大阪號）

▲園芸寶典（五段鈴木鎮次郎著）　新式園芸栽培法の秘傳的第二巻と稱す、第二巻は蔬菜と布石の部なり學科的解釋により詳圖を挿入しあり（六十五錢東京日本橋區スキヤ町一大阪屋號）

▲少年（二月號）　小年雜誌として最も多趣味有益なるもの（十八錢東京時事新報社）

▲マツタ新報（五の一）　神奈川縣川崎町東京電氣株式會社

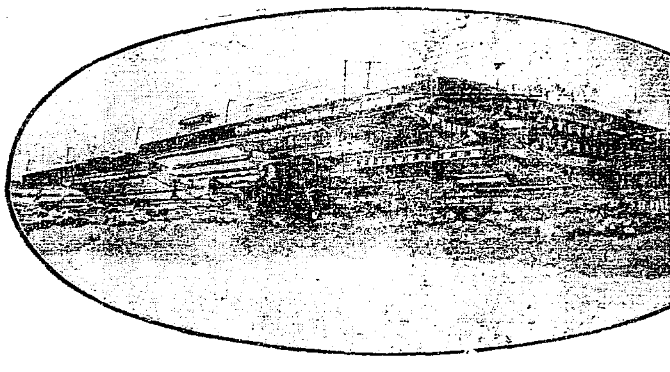
▲歌舞伎新報（二六八一）　撰材して日く『演舞は劇界唯一の大新聞』と（三錢、東京々橋區銀座二ノ二三其社）

大阪株式時電　十八日　前場　後場
日本郵船　三二六、九〇
同新株　三三〇、六〇
宮崎米株　一七三、四〇
大阪株式　二一五、九〇

大阪期米　十八日後場
▲寄付　二十四圓二十八錢
止り七十錢跡依然二三錢市の小往來にて動かず結局六十八錢と打止めたり中限は出來不申當三節二十圓ノ五錢の一値あるのみなり

十八日の三月限
寄付　二十四圓七十錢
大引　二十四圓六十八錢

資本金五百萬圓



今回合名會社奧村電機商會ヲ合併シ資本金五百萬圓ノ株式組織トシ本年一月六日ヨリ舊會社一切ノ業務ヲ繼承致候間倍舊ノ御愛顧奉願候

京都市岡崎町

株式會社奧村電機商會

電話　特長上七四番　長上一二六〇番　長上三〇一七番　長上三〇一八番

出張所……東京、大阪、神戸、金澤、福岡、富山、福井

營業科目

發電機、變壓器、電動機、
配電盤、電氣計器、
發電用水車、喞筒、
捲揚機、起重機、水壓鐵管、
鐵製煙突、鐵橋、
製氷及冷藏機械、
昇降機其他諸器械、
製造販賣

取締役社長	奧村猛
取締役副社長	阪本仙次
相談役	奧村寅次郎
取締役	安部幸之助
取締役	大澤德太郎
取締役	西村庄太郎
監査役	湯本善太郎
監査役	廣瀨滿正
監査役	青谷保治

鶴龜のやうな長壽を保つには

血を增し肉を肥す美味と滋養の葡萄酒

赤玉ポートワインを朝夕欠かさず召上れ

赤玉は健胃、補血、興奮、強壯の効驗著しい葡萄酒にして常に用ふれば老衰を防ぎ精力を增進し老人も眞に若返りいつも元氣で長壽延命疑ひなし

全州泉　間自動車著發時刻
（時刻表）
織居自動車部　金泉支部
▲小荷物運搬往復

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸　一月廿四日後四時
大有丸　一月十八日後四時
君代丸　一月廿一日後四時
神代丸　一月廿六日後四時
▲印大阪直行
仁川海岸通二丁目　高杉回漕部

汽船部　釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行
和歌浦丸　一月　日後五時出
立神丸　十二月　日後九時出
○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸十一月　日後十時出
立神丸十二月　日後四時出
○伊須原、嚴原、壹岐、博多行
大昇丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三愛平丸　月　日後六時出
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三愛平丸　月　日後六時出
釜山本町　大池回漕部

朝鮮共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸　一月十八日午後入港　一月二十日前十一時出
仁川代理店　野口回漕店
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告
仁川出帆
神戶大阪行（群山寄港）
大智丸　一月廿六日　午五時出
木浦、釜山、嚴原、和ノ浦、長崎行
安東丸　一月廿七日　後二時出
安東丸　二月十一日　後二時出
大連行
安東丸　一月廿四日　正午出
安東丸　二月七日　正午出
元山出帆
浦潮行　八幡丸　一月十七日　正午出
西湖津、新浦、城津、清津行
安平丸　一月廿三日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
宮島丸　一月十七日　後九時出
上海、基隆、打狗行
湖北丸　一月十三日　前六時出
基隆丸　一月　日　後四時出
南米行　每月一回
北米行　每月一回
孟買行　每月二回
南洋行　每月一回
大阪商船株式會社仁川支店

朝鮮郵船出帆
○關門より釜山各地經由雄基行
第二商運丸　一月
成鏡丸　一月十九日
京畿丸　一月廿五日
忠清丸　一月
釜山發
○元山より北鮮名地經由雄基行
咸鏡丸　一月廿二日
京城丸　一月十八日
清津丸　一月
元山發
○大阪行（釜山門司經由）
平壤丸　一月十七日　釜山發
○元山より釜山、鬱陵島行
京畿丸　一月廿四日　元山發
成鏡丸　一月廿一日　元山發
○濟州島行（長承浦、巨文島經由）
濟平丸　一月十七日　釜山發
○慶尚南道各地經由
江陵丸、慶興丸　每日　釜山發
○濟州島行（西廻）
咸興丸　一月十九日　木浦發
○釜山、濟州、巨濟　每日釜山發
○木浦、濟州島行
順天丸、南陽丸　一月十七日、一月十八日　木浦發
○木浦ヨリ多島海各島行
慶興丸　一月廿三日　木浦發
○仁川木浦行
晉州丸、金海丸　一月十八日、一月廿二日　仁川發
○仁川鎮南浦行
宗信丸　月　日　仁川發
○海州行
全州丸、南陽丸　每日　仁川發
○青島行
江原丸　一月十九日　仁川發
○清津行
城平丸　一月　日　元山發
釜山支店　元山出張所　仁川代理店　木浦代理店　京城代理店